

令和元年度医療救護所訓練 結果報告

I 貫井中学校医療救護所訓練

1 実施日時

令和元年12月8日（日）9時00分～11時40分

2 訓練会場

貫井中学校（体育館・武道場・職員室他）

3 訓練内容

(1) 災害対策講習会

講師：練馬光が丘病院 光定 誠 医師

(2) 医療救護所開設訓練

- ・各師会および各エリアのリーダー選定
- ・備蓄物品等の搬出入および使用場所の設営
- （・貫井中学校生徒向けAED講習会）

(3) 医療救護活動訓練

- ・避難拠点運営連絡会等による傷病者の振分け
- ・四師会医療救護班等によるトリアージ
- ・軽症者への診察・応急手当・調剤および投薬
- ・重症者への診察・応急手当・搬送順位確定
- ・練馬光が丘病院への重症者搬送
- ・東海病院への透析患者搬送
- ・協定事業者による不足医薬品の補充
- ・防災無線や衛星携帯電話による各種情報連絡訓練
- ・電気自動車を活用した災害時のエネルギー確保の実証展示

4 参加者 168名

- | | |
|---------------------------|-------|
| (1) 練馬区医師会（事務含む） | (10名) |
| (2) 練馬区歯科医師会 | (4名) |
| (3) 練馬区薬剤師会 | (22名) |
| (4) 東京都柔道整復師会練馬支部 | (7名) |
| (5) 練馬光が丘病院 | (4名) |
| (6) 東海病院 | (10名) |
| (7) 医療救護所医療従事スタッフ（看護師） | (9名) |
| (8) 透析患者会 | (5名) |
| (9) 医薬品卸売業者（東邦薬品株） | (1名) |
| (10) 民間救急事業者（有東洋企画） | (2名) |
| (11) 区議会議員 | (1名) |
| (12) 貫井中学校避難拠点運営連絡会と近隣町会等 | (43名) |
| (13) 貫井中学校関係者 | (14名) |
| (14) 区要員 | (8名) |
| (15) 練馬区危機管理室、環境部、健康部 | (28名) |

II 大泉南小学校医療救護所訓練

1 実施日時

令和元年12月15日（日）9時00分～12時00分

2 訓練会場

大泉南小学校（体育館、視聴覚教室、小会議室、保健室他）

3 訓練内容

(1) 災害対策講習会

講師：順天堂練馬病院 高見 浩樹 医師

(2) 医療救護所開設訓練

- ・各師会および各エリアでのリーダー選定
- ・備蓄物品等の搬出入および使用場所の設営

(3) 医療救護所訓練（※避難拠点訓練を同時開催）

- ・避難拠点運営連絡会等による避難者および傷病者の振分け
- ・四師会・登録看護師によるトリアージ
- ・軽症者への診察・応急手当・調剤および投薬
- ・重症者への診察・応急手当・搬送順位確定
（順天堂練馬病院の医師をファシリテーターとした患者情報の付与等）
- ・大泉生協病院への患者搬送
- ・不足医薬品の補充
- ・防災無線や衛星携帯電話による各種情報連絡訓練
- ・電気自動車を活用した災害時のエネルギー確保の実証展示
- ・訓練後反省会の実施

4 参加者 200名

- | | |
|------------------------|-------|
| (1) 練馬区医師会（事務含む） | (9名) |
| (2) 練馬区歯科医師会 | (4名) |
| (3) 練馬区薬剤師会 | (19名) |
| (4) 東京都柔道整復師会練馬支部 | (6名) |
| (5) 順天堂練馬病院 | (6名) |
| (6) 大泉生協病院 | (20名) |
| (7) 医療救護所医療従事スタッフ（看護師） | (6名) |
| (8) 大泉南小学校避難拠点運営連絡会 | (19名) |
| (9) 近隣町会等 | (63名) |
| (10) 区議会議員 | (3名) |
| (11) 大泉南小学校関係者 | (6名) |
| (12) 区要員 | (8名) |
| (13) 練馬区危機管理室、環境部、健康部 | (31名) |

令和元年度 医療救護所訓練における課題と今後の対応案

医療救護所訓練終了後、参加者向けにアンケートを実施した。その回答をもとに、医療救護所運営の課題を抽出し、来年度以降の訓練で改善を図る。

1 災害対策講習会について

	課題	対応案
①	時間が短すぎる。もう少し時間を取って、説明してほしい。(複数回答)	医療職向けに、医療救護所訓練とは別日程で講習会の開催を検討する。

2 医療救護所開設訓練について

	課題	対応案
①	各エリアの設営レイアウト例を各医療救護所に配備した方がよい。	医療救護所ごとのレイアウト例を作成し、配備する。
②	リーダーを選定するまでは良かったが、決めただけで終わってしまっていた。	リーダーの役割が一目で分かるよう、アクションカードの作成を検討する。
③	物品の保管場所がわからなかったため、確認のための時間がほしい。	訓練時に、物品の保管場所確認の時間を設けるよう検討する。

3 医療救護活動訓練について

	課題	対応案
①	経過観察をどこで誰が行うのか決めておく必要がある。	医療救護所の運営については、今後も災害医療運営連絡会でも協議を行う。
②	軽症者エリアに看護師自体必要なのかと思った。他のエリアを充実させた方がよければそちらに配置されてもよいのではないか。	人員の差配については、統括医の役割であるので、役割を明確にし、臨機応変に判断できるよう事前説明会等で周知する。
③	トリアージ区分や患者の情報が書かれていないタグが多く、本部で記録できる内容が限られた。	トリアージタグの記入方法については、今後トリアージ講習会を開催し、周知していく。
④	医療スタッフ同士の連携がうまくいかなかったところがあった。	訓練説明会や避難拠点運営連絡会等で事前に顔合わせの機会が設けられるよう関係各所と調整を行う。

4 その他

	課題	対応案
①	帳票類の記入例が配備されていると良かった。	トリアージタグや傷病者受付一覧、クローロジーの記載例を作成し、配備する。